

東地区小学校の再編について

稲敷市では、少子化の影響により児童数の減少が著しいことから、平成22年3月に「学校再編整備実施計画」を策定し、市内小学校の再編を実施してきました。

東地区の計画における小学校の適正配置方針では、小学校5校の全部をもって統合し、新しい場所に学校を設置する新設統合でした。

しかしながら、これまで東地区では、各学校に発生した複式学級の解消を最優先に段階的に統廃合を実施してきました。

現在、さらなる児童数の減少により、令和7年度にはあずま北小学校において複式学級の発生が見込まれております。また、3校とも建物の老朽化が著しいことから、東地区小学校の今後の在り方の検討をこれまで説明会やアンケートなどを実施し、広く意見を募集してきました。

稲敷市では、アンケート結果や説明会での意見及び既存小学校の状況などを総合的に判断し、下記の3カ所を候補地として東地区の小学校を統合することといたしました。

候補地（案）

		①東中学校敷地内	②あずま生涯学習センター付近敷地	③あずま北小学校敷地
現況				
基本情報	住所	稲敷市八千石 77	稲敷市佐原組新田 1596	稲敷市伊佐部 1673
	用途地域	○ 非線引き区域	○ 非線引き区域	○ 非線引き区域
	建ぺい率	60%	60%	60%
	容積率	200%	200%	200%
地理的中心性	○ 概ね地区の中心	○ 概ね地区の中心	○ 概ね地区の中心	
計画自由度	敷地面積	○ 約6万㎡ (中学校含む)	◎ 約3.2万㎡	△ 約2万㎡
	敷地形状	◎ 整形で高低差が小さい	◎ 整形で高低差が小さい	△ 不整形、かつ高低差あり
	既存施設	△ 敷地内に中学校があるため、配置等に制約を受ける	○ 既存施設がないため、配置の自由度が高い	△ 敷地内に小学校があるため、配置等に制約を受ける
周辺施設との連携		◎ 東中学との小中連携や義務教育学校の検討ができる	○ 生涯学習センターや周辺運動施設と連携が期待できる	△ 連携を期待できる施設が隣接していない
防災	洪水ハザードマップ	△ 浸水想定：0.5～5m →階構成等に配慮が必要	△ 浸水想定：0.5～5m →階構成等に配慮が必要	◎ 浸水想定：なし
	ゆれやすさマップ	○ 震度6強	○ 震度6強	○ 震度6強

